

# マレーシア便り (第14回)

兵庫県立津名高等学校  
理科 物理担当 井俣 由貴史

こんにちは。7月はいかがでしたか。1学期が終わり、息をつく間もなくサマーサポートウィークが始まったのではないのでしょうか。3年生はエアコンが設置されて、使い心地はどうだったかがとても気になっています。

さて、マラヤ大学では、2年生の日本人学校交流会、日系企業訪問、1年生の中間考査がありました。日本人学校交流会では、小学6年生と交流をしました。お互いの国について紹介した冊子を事前に作成し、交換しました。そして、それぞれの国や県について、紹介し合いました。また、遊びも一緒にしました。日本からは、めんこ、こま、すごろく、あやとり、羽子板など、マレーシアからは、sepac raga (セパック・ラーガ)、congak (コンガック)、gasing (ガシン)、バティック染め、牛乳パックで作成したサッカーゲームなどが紹介されていました。

日系企業訪問では、日立情報機器製造工場、日立エアコン製造工場、パナソニック液晶テレビ開発工場、デンソー自動車エンジンの電子制御部品工場、日本電気硝子工場の4社5工場を訪問しました。私はデンソー自動車エンジンの電子制御部品工場の引率をしました。昨年は日立の引率をしました。昨年度の同じ時期の「マレーシア便り (第5回)」に書きましたが、昨年見学した日立の工場のラインには、もの凄く多くの人がいまいた。人件費の安さを感じずにはいられませんでした。しかし、今年引率したデンソーの工場ラインには、人がとても少なく、驚きました。デンソーには、このAAJから卒業し、日本の大学に留学し、日本のデンソーに就職してから、マレーシアのデンソーに勤めている方がいらっしゃいました。質疑応答の時間に、「日本の大学に行っても、最初の3か月くらいは、何を言っているかわからない。でも、あきらめず、継続して勉強、努力することがとても大事だ。そうすると、いつの間にか、分かるようになった。そして、日本人の友人をたくさん作ってください。」また、生徒の「日本の会社とマレーシアの会社との違いは何ですか？」の質問に、「マレーシアの会社は設計などの計画が来て、それを元に組み立てることが主だ。しかし、日本の会社は、マーケット調査を行い、企画、設計、製造まで、商品が完成するまでの工程に携わることができる。日本の会社はとてもおもしろい。だから、ぜひ一度は日本の企業に就職してください。それから、ぜひマレーシアに帰ってきて還元してください。」とおっしゃっていました。日本に留学する生徒には、ぜひ日本の良いところを学び、マレーシア、そして世界を牽引する人物になってほしいと思います。

さて、6月18日(木)からイスラム月「ラマダン」が始まると共に断食も始まりました。そして、そのラマダンは7月17日(金)で終わりました。この期間は、イスラム教徒は信仰心が厚くなります。(「マレーシア便り第13回」参照)生徒はこの期間、週に1回程度、寮のホールで一斉にお祈りをするのだそうです。私はこの期間に生徒の寮を訪問し、お祈りや、夕食の様子を見てきました。普段のお祈りは見たことはありましたが、このような多数で行われるお祈りの様子は初めて見ました。圧巻というか、感動というか、宗教というものを実感したような思いになりました。お祈りが終わった後は、みんなで食事を一緒にとり、絆を深めるのだと言っていました。私にもご馳走してくれました。「絆を大事にする」心に響く言葉でした。

## 【JSKI 交流会】



お互いの国について  
書いた冊子の交換



バティック染め



Congkak (ルールは不明)

## 【日系企業訪問】



フリータイム



AAJ 卒業生



全体写真

## 【ラマダン中の様子】



コーランを唱え、メッカの方向にお祈りをしている



みんなで食事 準備も自分達で

## 【私的な近況報告】



マラヤ大の花が咲きました  
常夏ゆえ、いつ咲くかは不明



バティック染めを体験しました



ローカルのスタッフのお孫さん  
1歳 birthday Party